



こんにちは。トリプルアイズの光石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせしますが、身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「アルコールチェック実践企業をご紹介。クラウド一括管理のメリットとは!？」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、「スポーツイベントで顔認証とSMSのハイブリッド認証を実験中」「顔認証AIが無人店舗における課題を解決」「大学の授業の出席管理にAIを活用」「トリプルアイズ将棋部 職域団体対抗将棋大会で好成績」「関西 HR EXPO でAIZE ミニ講演」についてご紹介いたします。

さらにIT批評では、新着記事「わかりにくさの罪、わかりやすさの罰 XAIが目指す帰納的飛躍の解消」についてご紹介します。

どうぞ最後までお付き合いください。

-----<目次>-----

1. 「アルコールチェック実践企業をご紹介。クラウド一括管理のメリットとは!？」
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

-
1. 「アルコールチェック実践企業をご紹介。クラウド一括管理のメリットとは!？」



2022年10月開始予定だった白ナンバーにおけるアルコール検知器使用の義務化は延長されたものの、目視等におけるアルコールチェックは既に始まっております。

今回は、検知器使用の義務化に先立ち、トリプルアイズのアルコール検知 AI クラウドシステム「AIZE Breath (アイズブレス)」を導入いただいた企業様の、導入から運用までの一連の流れをご紹介します。

AIZE Breath の詳細は [こちら](#)

今回導入いただいたのは、従業員数 50 名ほどで、30 台の社用車を保有されている建設関連の企業様。導入にあたっては、使い方の説明会を開き、実際に社員の皆さんに機器を見てもらい、その後 1 週間ほど自由に体験できる期間を設けたそうです。

また、アルコールチェック対象の運転者だけでなく、**全社員を対象**として少しずつ進めていかれたそうで、その点もスムーズに運用されているポイントのようですね。

AIZE Breath の使い方は、まず非接触型のタブレットで顔認証をし、次にアルコール検知器でアルコールチェックします。すると、画面に検知結果が表示され、クラウド AI エンジンには本人の顔画像と検知結果のデータが記録されます。安全運転管理者の PC には、勤怠時刻とアルコール数値が表示されるというものです。

「便利だと感じる点は、やはり **クラウド管理**。これにつきます。

最初に道路交通法の改正について情報が出た時に、安全運転管理者も従業員も負荷が増えることを想像していました。しかし AIZE Breath は、**ペーパーレスでクラウドに記録が残る**ので、安心安全を担保しつつ、負担は少なく運用できています。

早朝出勤の従業員もおりますので、その場では副安全管理者が確認し、その後安全運転管理者が出社したタイミングで、**撮影された顔画像と検知結果を PC の管理画面で確認できる**のも便利ですね」とのことで、AIZE Breath の利点を感じていただけて私たちが嬉しいかぎりです。

詳細記事は [こちら](#)

アルコール検知器の導入を検討されている企業様、ぜひ参考にぜひ読んでください！

2. トリプルニュース

「スポーツイベントで顔認証と SMS のハイブリッド認証を実験
—横浜慶應チャレンジャー国際テニストーナメントにて—



トリプルアイズは、慶應義塾体育会庭球部、株式会社アクリートと共同で、2022年10月30日（日）～11月13日（日）に慶應義塾大学日吉キャンパス榎谷テニスコートにて開催される国際テニス大会「Yokohama Keio Challenger International Tennis Tournament 2022」（以下、横浜慶應チャレンジャー）にて、顔認証とSMS（ショートメッセージサービス）のハイブリッド認証の実証実験を行なっています。

今回の取り組みは、スポーツイベント運営におけるIT/AIの有効活用について可能性を探ること、セキュリティを担保しつつスムーズな大会運営のオペレーションモデルを構築することが目的です。

期間：2022年10月30日（日）～11月13日（日）

実験概要：顔認証とSMSを組み合わせた認証と検温結果の本人通知（対象：運営スタッフ）

- ・運営スタッフはあらかじめスマホで顔登録と電話番号登録を行う
- ・運営スタッフは会場入場時にカメラつき検温機で顔認証と検温を行う（出欠と検温管理）
- ・検温結果がSMSで本人に通知

トリプルアイズが顔認証AIシステムを用意し、SMS配信はアクリエートのSMSプラットフォームを活用します。本取り組みについての詳細は[こちら](#)からご覧いただけます。

「顔認証AIが無人店舗における課題を解決

—「うつのみや ろまんちっく村」のスマートストアにて」



2022年11月3日（木）より、トリプルアイズは、栃木県宇都宮市の道の駅うつのみや ろまんちっく村にオープンする非接触型のスマートストア「スマート de 愛ショップ」において、画像認識プラットフォーム・AIZE（アイズ）を用いた来訪者調査を、栃木県が設置・運営するとちぎビジネス AI センター（栃木県宇都宮市ゆいの杜・とちぎ産業創造プラザ内）の協力のもと、実施することをお知らせいたします。

「スマート de 愛ショップ」は、道の駅うつのみや ろまんちっく村正面ゲートに設けられた商品選択から決済までをスマートフォンのみで完結する非接触型の無人店舗で、栃木県内を中心とした個人作家のクラフト等の手作り作品を購入することができます。

来訪者属性の分析ソリューションとして、店舗入り口に検温と同時に顔画像から来訪者の属性分析が可能な AIZE Research+（アイズリサーチ・プラス）を設置することになりました。

これまで無人店舗では、購入者はクレジットカードなどから把握することができましたが、それ以外の来訪者全体を把握する術はありませんでした。

ストア市場が広がりを見せるなか、AIZE Research の設置により、**無人店舗においてもリアルな来訪者分析を実現**しました。

道の駅うつのみや ろまんちっく村ホームページは [こちら](#)

AIZE ホームページは [こちら](#)

アップデート株式会社ホームページは [こちら](#)

とちぎビジネス AI センターホームページは [こちら](#)

「大学の授業の出席管理に AI を活用」



トリプルアイズは、丸紅様、信州大学様と共同で、信州大学 松本キャンパスにおいて顔認証出席確認の実証実験を開始しました！

これまでの QR コード読み込みによる出席確認に替わり、今回の実証実験では、教室後方の出入口に設置した、AI 顔認証による本人確認機能を搭載した「AIZE Education (アイズエデュケーション)」で本人認証を行います。オンラインで授業に参加する場合は、手持ちのスマートフォンのカメラを使い出席確認が可能です。

第 1 回目の授業では、AI 活用についての講義が行われ、本人の顔登録を兼ねた AI 技術体験会も実施されました。また、今週末 11 月 12 日に同大学内で開催される就活イベント「大しごと一く in 信州 2022」での入退場管理、バスの乗降確認においても AIZE が活用されます。

AIZE の詳細は [こちら](#)

「トリプルアイズ将棋部 職域団体対抗将棋大会で好成績」



先日東京体育館にて開催された「第 122 回職域団体対抗将棋大会」におきまして、トリプルアイズ将棋部が S クラスで 3 位入賞、C クラスで準優勝いたしました！

トリプルアイズからは、S クラスと C クラスへ 2 チーム、新メンバーも加わっての参戦。

S クラスは 4 大会連続で決勝トーナメント進出を果たし、C クラスで準優勝したチームは次回 B クラス昇格となりました。

将棋部メンバーは、「悲願の優勝に向けて、今後もトリプルアイズらしくベンチャー精神で優勝チームとの実力差を着実に埋めていきます。」と次の戦いへ目を向けていました。来春に乞うご期待！



「関西 HR EXPO ソニービズネットワークス様ブースで AIZE ミニ講演」

来週 11 月 16 日（水）から 18 日（金）の期間、インテックス大阪で HR EXPO が開催されます。

人事 DX システムなどの人事部門を支援するソリューションが多数出展される中、ソニービズネットワークスさんのブースにて、トリプルアイズも顔認証 AI システムについてのセミナーを実施させていただくことになりました！

セミナー登壇スケジュール

11 月 16 日（水） 11:30～11:45、16:15～16:30

11 月 17 日（木） 11:30～11:45、16:15～16:30

計 4 ステージ予定しています。お近くの企業様、企業の DX ご担当の皆様、ぜひお立ち寄りください。

ソニービズネットワークス社との連携詳細については[こちら](#)

3. IT 批評

新着記事のお知らせ

「わかりにくさの罪、わかりやすさの罰 XAI が目指す帰納的飛躍の解消」

Text by 桐原永叔（IT 批評編集長）



今回は、ディープラーニングのブラックボックス的側面に焦点を当てて、演繹的ロジックと帰納的ロジックの違いについて述べ、さらに天才と呼ばれる科学者や数学者の例を挙げ、AI のみならず科学そのものが持つ説明不可能性について述べています。

天才はなぜ理解され難いのか。他者を理解するとはどういうことか。考え出すと深いですね。ぜひご一読を！

併せて、産総研人工知能研究センター長・辻井潤一先生の XAI に関するインタビューもどうぞ！

<https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

前回こちらでお伝えしていました AI ビジネス実践学 [「AT20」](#) の「入門コース」、無事に第一回目の課題を終えました。シンギュラリティという 2045 年問題の事を知り、なんだか言葉の響きだけで恐れおののいてしまいましたが、AI についてもっと知りたい！という欲求も高まっています！

そして日に日に”冬”の気配を感じるようになってきましたね。子どもが風邪をひいてしまい、家の中は絶賛警戒中です。寒くなってきたので皆さんもお気を付けください。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに。
